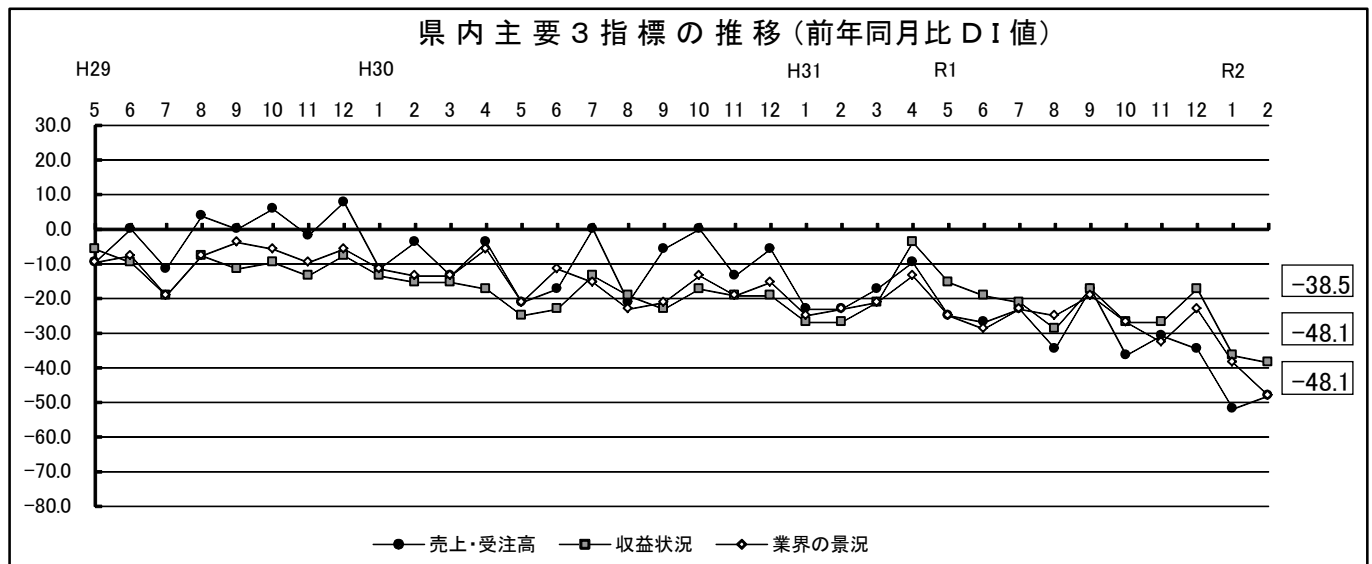


中小企業団体情報連絡員報告結果(令和2年2月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 2月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中3指標が上昇、3指標が下降した。国内景気の後退が続く中、新型コロナウイルスの影響等により、主要3指標のうち「収益状況」及び「業界の景況」が悪化した。「売上高」については、わずかに上昇したものの、前月に引き続き大きなマイナス値となっている。
- 新型コロナウイルス感染予防の観点から、イベントや会合等の延期・中止、店舗の営業自粛等が相次いだことに伴い、納品依頼や予約のキャンセル等が後を絶たず、特に小売業や旅館・ホテル業においては壊滅的な打撃を受けている。
- 製造業においても、部材・部品等の供給の遅れや加工工場の休業等が相次いでおり、今後の生産活動に不安を感じる声が多く聞かれた。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-48.1	+3.8	-43.4	-6.6
収益状況	-38.5	-2.0	-42.8	-6.8
業界の景況	-48.1	-9.6	-50.6	-10.4

売上・受注高

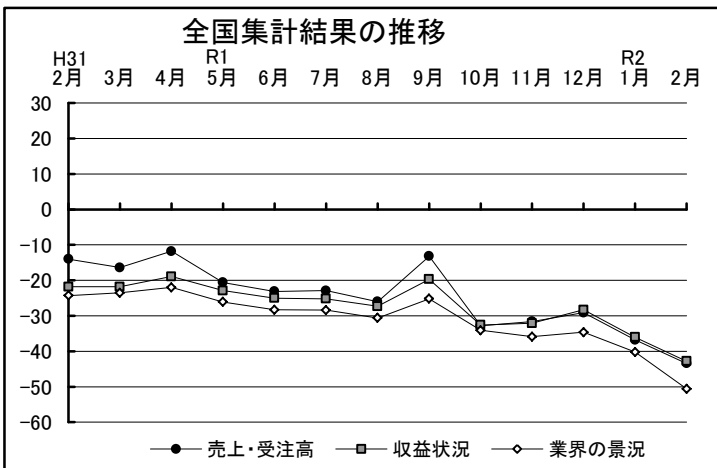
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より3.8ポイント上昇し、-48.1ポイントとなった。全国においては、前月より6.6ポイント下降し、-43.4ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より2.0ポイント下降し、-38.5ポイントとなった。全国においては、前月より6.8ポイント下降し、-42.8ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より9.6ポイント下降し、-48.1ポイントとなった。全国においては、前月より10.4ポイント下降し、-50.6ポイントとなった。



-概況-

2月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「売上高」「資金繰り」「雇用人員」の3指標が上昇、「在庫数量」「収益状況」「業界の景況」の3指標が下降した。

主要3指標では、「売上高」は上昇し-48.1ポイント、「収益状況」及び「業界の景況」は下降しそれぞれ-38.5ポイント、-48.1ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中3業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、1業種が下降した。「収益状況」は製造業で7業種中2業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、2業種が下降した。「業界の景況」は製造業で7業種中1業種が上昇、4業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が下降した。

新型コロナウイルス感染予防の観点から、イベントや会合等の延期・中止、店舗の営業自粛等が相次いだことに伴い、納品依頼や予約のキャンセル等が後を絶たず、壊滅的な打撃を受けている。また、部材・部品等の供給の遅れや加工工場の休業等も相次いでおり、今後の生産活動に不安を感じる声が多く聞かれた。次月以降も新型コロナウイルスを巡る動向が景気を大きく左右すると予想され、景気の先行き不透明感が強まっている。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	△	△	×	×	△	△	×
繊維・同製品	×	△	△	△	△	△	△	△	×
木材・木製品	△	△	△	△	△	△	×	△	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	×
一般機器	×	×	△	△	×	△	×	△	×
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	×	△	△	×	×	—	△	×
サービス業	×	—	△	△	△	△	—	△	×
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	×	—	△	△	×	△	—	△	×
その他	×	—	△	△	×	△	—	△	×

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-100.0	25.0	0.0	-25.0	-75.0	-50.0	-25.0	0.0	-75.0
繊維・同製品	-50.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-100.0
木材・木製品	0.0	25.0	-25.0	0.0	-25.0	-25.0	-50.0	0.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0
一般機器	-100.0	-50.0	0.0	-25.0	-100.0	-25.0	-75.0	25.0	-75.0
製造業	-44.0	-8.0	-12.0	-12.0	-36.0	-20.0	-24.0	4.0	-56.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	-33.3	0.0	0.0	-	0.0	0.0
小売業	-100.0	-42.9	0.0	-14.3	-85.7	-42.9		0.0	-57.1
サービス業	-50.0	-	16.7	-16.7	-16.7	-16.7		-33.3	-50.0
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	-50.0		0.0	0.0	-50.0	0.0		0.0	-50.0
その他	-50.0		0.0	0.0	-50.0	0.0		0.0	-50.0
非製造業	-51.9		-30.0	3.7	-11.1	-40.7		-14.8	-7.4
全体	-48.1	-14.3	-3.8	-11.5	-38.5	-17.3	-24.0	-1.9	-48.1

図表3～【指標別DI値の推移】

	31年 2月	3月	4月	元年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	前月 比
売上高	-23.1	-17.3	-9.6	-25.0	-26.9	-23.1	-34.6	-17.3	-36.5	-30.8	-34.6	-51.9	-48.1	3.8
在庫数量	-17.1	-17.1	-17.1	-28.6	-20.0	-20.0	-14.3	-8.6	-20.0	-14.3	-8.6	-5.7	-14.3	-8.6
販売価格	1.9	-1.9	1.9	3.8	0.0	5.8	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	-3.8	-3.8	0.0
取引条件	-11.5	-13.5	-7.7	-3.8	-1.9	-5.8	-9.6	-9.6	-9.6	-11.5	-9.6	-11.5	-11.5	0.0
収益状況	-26.9	-21.2	-3.8	-15.4	-19.2	-21.2	-28.8	-17.3	-26.9	-26.9	-17.3	-36.5	-38.5	-2.0
資金繰り	-9.6	-11.5	-3.8	-5.8	-7.7	-11.5	-15.4	-11.5	-19.2	-13.5	-13.5	-19.2	-17.3	1.9
設備操業度	-8.0	-8.0	0.0	-4.0	-4.0	-4.0	-20.0	-20.0	-16.0	-8.0	-12.0	-24.0	-24.0	0.0
雇用人員	0.0	-3.8	3.8	0.0	-3.8	-5.8	-3.8	-1.9	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-1.9	3.9
業界の景況	-23.1	-21.2	-13.5	-25.0	-28.8	-23.1	-25.0	-19.2	-26.9	-32.7	-23.1	-38.5	-48.1	-9.6

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0
繊維・同製品	25.0	0.0	-25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	-50.0
木材・木製品	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
一般機器	-25.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	25.0	-25.0
製造業	12.0	-8.0	-4.0	4.0	4.0	0.0	0.0	4.0	-16.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	-33.3	0.0	0.0		-33.3	0.0
小売業	-42.9	-14.3	0.0	0.0	-28.6	0.0		0.0	0.0
サービス業	33.3		16.7	0.0	16.6	16.6		33.4	0.0
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	-50.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-3.8	-10.0	3.7	-3.7	-7.4	3.7		3.7	-3.7
全体	3.8	-8.6	0.0	0.0	-2.0	1.9	0.0	3.9	-9.6

特記事項

情報連絡員報告（令和2年2月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	新型コロナウイルスの影響により、イベントや会合等が中止となったため、売上高が大きく減少した。
あん類製造業	消費増税の影響が続いており、売上高減少及び収益状況悪化が引き起こされている。今のところ、新型コロナウイルスの影響は出ていない。
酒類製造業	新型コロナウイルスの感染予防のために飲食店等が次々に休業や営業自粛に追い込まれている影響を受け、収益状況は悪化の一途をたどっている。新型コロナウイルスは先行き不安を高める一因となっているため、早急な終息が望まれる。
縫製業	新型コロナウイルスの影響により、海外生産を一部国内へシフトする動きがあり、受注は増加している。しかし、原材料の多くを中国からの輸入に頼っているため、在庫を使い切ってしまった場合にこれまで通り輸入できるか心配である。
外衣・シャツ製造業	新型コロナウイルスの影響により、イベントや祭り、卒業式等が中止となったために衣服のレンタルでキャンセルが相次ぎ、売上高が大きく減少している。
染色整理業	一部の組合員において売上高の減少が発生している。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	新型コロナウイルスの影響により、国内外の繊維業界は停滞している。資材の調達が難しく、加工工場も休業等が相次いでおり、取引先もお手上げ状態とのことである。今後のさらなる景況感悪化が危惧される中、消費者においては購買欲が低下し、事業者においてはより厳しい発注内容（値引き、減産）が想定されるなど、業界内の悪循環が懸念される。
家具・建具製造業	新型コロナウイルスの影響により、中国製の部材・部品等の供給が遅れ始めており、今後の生産活動に不安を感じている組合員が増えている。
建具製造業	販売実績は結果的に前年を上回った形となったものの、新型コロナウイルスの影響が仕入材料や金物等に波及しつつあり、混乱が長引けば多大な事業機会の損失や減収につながる危険性がある。また、従業員や関係者の感染も大きなリスクであり、懸念事項となっている。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。また、新型コロナウイルスの影響が出始めており、年度末に向けて受注量の減少に不安が残る。
石灰製造業	鉄鋼関係は減産傾向のため出荷減となった。肥料関係は若干の減少となった。建材関係は徐々に受注が出始めているが、本格的な動きにはまだ達していない。全体的には減少傾向となった。
金属製品製造業	新型コロナウイルスの影響により、家電関係の部品が中国から入荷できていないため、会社の稼働日数が定まらない懸念がある。
金属製品製造業	売上低下・人件費増加・人手不足により、自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも低下した。
一般機械器具製造業	売上高がやや減少し、それに伴い収益状況もやや悪化した。今後の先行きを不安視する組合員も少なくない。また、新型コロナウイルスの影響による日本経済全体の悪化も懸念されているため、今後の影響を引き続き注視していく必要がある。
一般機械器具製造業	新型コロナウイルスの影響により、中国の取引先からの製品仕入が減少したため、国内での売上高が減少している。
一般機械器具製造業	新型コロナウイルスの影響が徐々に始まっており、先行き不安が高まっている。

各種商品卸売業	一部の組合員に売上高減少や収益状況悪化がみられる一方、業況は良いとする組合員も複数あるため、業種による違いはあるものの、総じて大きな業況変化はない。新型コロナウイルス対策用のマスクやアルコール消毒剤が入手困難となっている組合員が多く、早期改善が望まれる。
食肉小売業	消費増税によって消費者の節約志向が強まっている中、新型コロナウイルスの影響により、宴会やイベント等が中止となったために納品等のキャンセルが相次ぎ、景況感は悪化している。
中古自動車小売業	消費増税後の動きは依然として回復しない中、新型コロナウイルスの影響により消費マインドが低下しており、売上等に少なからず影響が出始めている。
各種商品小売業	前月に引き続き景況感が悪く、また、新型コロナウイルスの影響も出始めており、さらなる客数減を招いた。全体的に景況は低迷している。
各種商品小売業	前半は好調に推移したものの、下旬以降は新型コロナウイルスの影響により、売上が急激に落ち込んだ。2月以降もどこまで影響が大きくなるか計り知れず、先行き不透明感が強まっている。
花・植木小売業	前年同月比で、入荷量は約93%、単価は約95%で推移した。葬儀需要はやや多かったが、ブライダル需要は減少した。小売店の動きも鈍く、売上が大きく減少した。来月は、桃の節句、卒業式、結婚式、お彼岸といった一年で最もお花が使われる時期であるが、新型コロナウイルスが売上等にどこまで影響するのか心配である。
理容業	組合員数について、ここ数ヶ月は緩やかな減少となっている。台風19号の被害を受けた組合員の多くは業務を再開できており一安心であるが、未だ休業している組合員については引き続き支援が必要な状況である。
自動車整備業	従業員の減少により、売上高等に影響が出ている。求人を行っても就職希望者が見つからず、新規採用が非常に難しい状況である。
旅館・ホテル	宿泊に関しては、例年通りの動きとなった。宴会及び飲食店利用に関しては、ここ数年のトレンド通り同件数程度受注したが、下旬以降は新型コロナウイルス感染防止の観点から会合等が自粛となった影響でキャンセルが相次ぎ、壊滅的な状況に追い込まれている。
ビルメンテナンス業	仕事の受注量は前年並みであるが、倉庫内作業等において作業効率化を図り、人件費を削減することで、収益性は向上している。
給食センター	産業弁当の値上げを実施したが、不採算部門の撤退等により昨年度より若干の売上高減少となった。配送の燃料費高騰や最低賃金引上げ等により厳しい状況ではあるが、食材費の減少や新規得意先の開拓・新商品の開発により、収益は良くなってきている。
内装工事業	当組合の防災ラベル支給枚数からみると、カーテン用ラベルは5%増、敷物用ラベルは4%減、壁装用ラベルは13%減であった。全体的には14%減となった。3月の動きに期待している。
一般貨物自動車運送業	慢性的なドライバー不足に加え、新型コロナウイルスの影響により、主に製造業での減産が目立っており、その分荷動きも減少するため、業績は悪化している。
貨物軽自動車運送業	新型コロナウイルスの影響が大きく、自動車、部材、印刷物等の仕事がストップしてしまっている。小学校等が休校となった影響で、食料品、飲料水等の配送がスポット的に増加した。引越しについては、例年通りの受注数・予約数であった。今後の新型コロナウイルスの影響次第であるが、年度末までは厳しい景況が続くと予想される。
一般乗用旅客自動車運送業	消費増税の影響が続く中、新型コロナウイルスによるイベント・会議等の中止や外出自粛の影響を大きく受け、2割強の売上減となっている。今後の成り行きが非常に心配である。
大谷石採石業	前月に引き続き、受注が少ない。